

光永 勇 × スペシャル対談

話題の政治家に聞く!!



東京都知事 (元 環境大臣当時)

小池百合子

アジア諸外国から漂着する危険なゴミの問題は、地方行政やボランティアだけでなく、国際レベルで対策しなければ解決できません。漂着ゴミ問題の現状と今後の解決策について、2009年に小池百合子先生にお聞きしました。

て、その費用に充てていますが、とても追いつくものではありません。

■小池 なるほど。

■光永 ゴミの処理ですが、家庭の一般ゴミは市町村行政が、そして産業廃棄物は県が中心です。こういう外国からの漂着ゴミは、どの行政が処理するのか、よく分からないと非常に困っておられます。ぜひ、これを国際的に取り上げて、外国から来られるみなさんにも協力していただきたいのです。これはアースデイの運動でしか解決できない事だと思っています。アースデイをきっかけに、来年世界大会を沖縄で開催できないものかと呼びかけをしていきたいのです。

■小池 そうですか。沖縄の漂着ゴミは、アメリカの人に言っても、イギリスの人に言っても、それぞれ地域的なものがあります。アジアの国々で、環境大臣会合などで出しているテーマなので、むしろそちらで明確にする方が効果的だと思います。

漂着ゴミは、自分たちが出したゴミではないのに、始末は自治体に迫られる。例えば能登半島もそうなのですが、地形的に漂着ゴミが集まってしまいう所があります。湾に溜まりやすい所は本当に苦労していらっしやる。そういった地域に国の補助を出すようにしています。

一方で、近隣のアジア諸国がより豊かになれば、その分だけゴミが増えてしまいます。環境教育を、各国の大臣と一緒にやっていきましょう、という対応を

■沖繩の島々に漂着する深刻なゴミ処理の問題

■光永 今、石垣島・西表島・宮古島、そして沖繩本島では、漂着物が大変な問題になっています。

■小池 竹富町もですね。

■光永 はい。それ以外の島々にも漂着しています。いち地方の行政だけでは、どうにもならないと思った竹富の町長さんから「アースデイのイベントで取り上げていただけないか」と話がありました。私たちもボランティアで月に一回、漂着ゴミの清掃をしているのですが、竹富の町民は一家庭あたり2000円、それから個人で1000円を負担し

Earth Day Special Interview



進めているところです。これを徹底する事が良いのではないかと考えています。

アースデイを世界の祝日に

■光永 アースデイ(4月22日)は、土曜日、または日曜日に当たった時は、非常に盛り上がるのですが、平日に当たった時は、なかなか盛り上がりません。そこで4月22日をアースデイとして、その日に近い土曜日、または日曜日に全国でイベントを開催し、地球について考えたり、世界平和を祈ったり、あるいは国によっては運動をしたり、という日にしていきたいと思います。少し大きなスケールの話ですが、4月22日を世界の祝日に提案したいと思っています。

■小池 日本は休日が多いので、わざわざ休日にしなくても、地球の事を考える日が毎日であっても良いのではないのでしょうか。むしろ特別ではなく、当たり前な事にしなくては、イベントを盛り上げるのがアースデイの目的ではないのですから、意識を高める事が大切なのではないでしょうか。

4月22日がアースデイで、それから6月は環境月間ですから、そういった形で、もっと国民の意識も高まっていくと良いと思っています。そういう意識の方も高まりつつあるのではないかと考えています。

外国から流れて来る

「開けてはいけない」

強アルカリ入りの医療「ゴミ」

■光永 沖縄の漂着ゴミの中に、とても危険な医療「ゴミ」等が多数含まれています。自治体は「強アルカリが入っているので開けないように」というのですが、海ですら子供も大勢行く場所、すぐに開けてしまう場合もあると思います。この辺りの対策は、何かお考えですか？

■小池 近隣のアジア諸国の教育や制度で、まず元を断つ事ですね。でも日本の製品も多いのではないですか？

■光永 私もチェックしてみたのですが、外国の製品ばかりでした。

問題は、この場所が水源地である事です。非常に危険だと思います。

毎週袋一杯出るゴミには 多大な費用もかかっている

■小池 私も沖縄の島で、ボランティア活動をしている人たちを励ましてきました。地域によつて、ゴミの溜まり場になってしまふ所が確かにあります。それを島民の皆さんが一人ひとり、積極的に対応してられます。

■光永 そうですね、しかし、とても費用がかかります。

■小池 国の補助として対応していただけますけれども、十分ではないかもしれません。

■光永 竹富町から沖縄本島まで持ってきてても、こんな小さな袋で1万円から2万円ほどかかるのです。それが毎週一杯出るものですから、これも大変な

事だと思えます。それで、町長さんから要請があったのです。

■小池 現状が、よく分かりました。

■光永 今日は、お忙しい中どうもありがとうございました。



小池百合子(こいけ ゆりこ)

プロフィール

アラビア語通訳者、ニュースキャスターを経て、1992年に政界へ転身した。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」キャスター(初代)、参議院議員(1期)、衆議院議員(8期)、総務政務次官(細川内閣)、経済企画総括政務次官(小淵第2次改造内閣・第1次森内閣・第2次森内閣)、環境大臣(第5・6・7代)、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策担当)、防衛大臣(第2代)、自由民主党広報本部長、自由民主党総務会長(第49代)、自由民主党無電柱化小委員長、自由民主党国際人材議員連盟会長、日本ウエイトリフティング協会会長などを歴任した。現在、東京都知事(第20代)。自由民主党所属。